

国際交流ニュースレター

2013.4~2014.3

Sapporo Medical University

International Medical Exchange Newsletter
by Department of International Affairs and Medical Exchanges

■語学研修

本学の交流協定大学であるアルバータ大学(カナダ)語学研修に、8名(医学部4名、保健医療学部4名)の学生が参加しました。

研修期間中、同大学の語学研修プログラムやホームステイを通し、語学力を向上させるとともに、実際にOT,PT学科や大学病院等の施設見学を行い、カナダの医療システムについても学びました。

・派遣期間: 8月4日(日)~8月25日(日)

・研修期間: 8月6日(火)~8月23日(金)



■学生交流(臨床実習)

本学では、2009年から中国医科大学(瀋陽市)、2011年から韓国カトリック大学(ソウル市)と協定を締結し、学生交流(臨床実習)を行っています。

この交流事業は、アジアで医学を学ぶ学生が共に臨床実習を行うことで、国際的な視野を身につけるとともに、専門的な知識を習得することを目指しています。

(1)中国医科大学への学生派遣

本学医学部第5学年 西村 友佑さんと森 崇博さんを派遣しました。

中国の医療現場の実習に興味を持ち、また、臨床医学を英語で学びたいという二人は、中国医科大学で次のとおり臨床実習を行いました。

- ・10月21日(月)～10月25日(金):腫瘍内科(西村さん、森さん)
- ・10月28日(月)～11月 1日(金):消化器内科(西村さん)、神経内科(森さん)



(2)中国医科大学からの学生受入

中国医科大学医学部第5学年 馬斌さんと李東さんが来学しました。

日本の医療に興味を持ち、本学に来学された二人は、次のとおり臨床実習を行いました。

- ・1月27日(月)～1月31日(金):医学部腫瘍・血液内科学講座(馬さん、李さん)
- ・2月 3日(月)～2月 7日(金):医学部消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座(馬さん、李さん)



(2) 韓国カトリック大学への学生派遣

本学医学部第5学年 青山 礼華さんと大岩 修太郎さんを派遣しました。

韓国の医療現場の実習に興味を持ち、また、臨床医学を英語で学びたいという二人は、韓国カトリック大学で次のとおり臨床実習を行いました。

- ・11月 4日(月)～11月15日(金):循環器内科(青山さん、大岩さん)
- ・11月18日(月)～11月29日(金):産婦人科(青山さん)、外科(大岩さん)

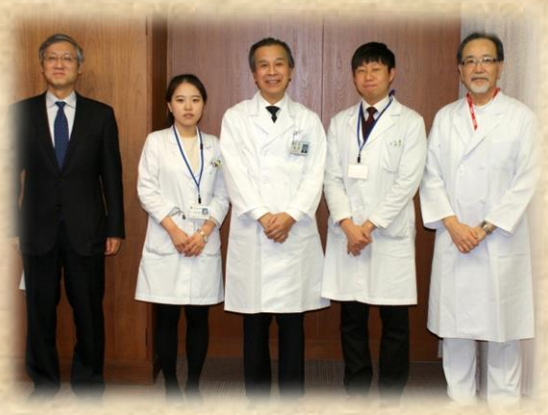


(3) 韓国カトリック大学からの学生受入

韓国カトリック大学医学部第6学年、Kim Joo Yeon(キム ジュヨン)さんとChung Hyun Sup(チョン ヒョンソプ)さんが来学しました。

日本の医療に興味を持ち本学に来学された二人は、次のとおり臨床実習を行いました。

- ・2月17日(月)～2月28日(金):医学部循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座(Kimさん・Chungさん)
- ・3月3日(月)～3月14日(金):医学部呼吸器・アレルギー内科学講座(Kimさん・Chungさん)



■大学院生・研究生・研究医の短期留学

国際水準の研究者を育成することにより、本学の研究及び教育水準の向上を目的として、本学の大学院生、研究生及び研究医を対象に、海外の大学で行う短期留学(研修)に対する助成事業を平成20年度から実施しています。

平成25年度は、心臓血管外科学講座 大学院生 上原麻由子医師がカナダのカルガリー大学で、自身が取り組んでいる「TTFMの実際の使用法とその評価についての研究」を中心に研修を行いました。

・11月27日(水)～2月9日(日):カルガリー大学



■教員・研究者の医学交流

本学は、パウロ財団(フィンランド)、アルバータ大学(カナダ)、中国医科大学、マサチューセッツ州立大学(アメリカ)、佳木斯大学(中国)と研究者の交流協定を締結しており、これら海外の大学間と、研究者の相互交流を行っています。

平成25年度は4大学に4名を派遣し、また、3大学から3名の交流研究者が来学されました。

(1)派遣

- ①佳木斯大学 康复医学院
 - ・交流研究者:保健医療学部作業療法学科 太田 久晶 教授
 - ・交流期間:8月25日(日)～8月31日(土)
- ②マサチューセッツ州立大学
 - ・交流研究者:医学部救急医学講座 文屋 尚史 助教
 - ・交流期間:9月8日(日)～9月19日(木)
- ③アルバータ大学リハビリテーション医学部
 - ・交流研究者:保健医療学部理学療法学科 岩本 えりか 助教
 - ・交流期間:2月3日(月)～2月24日(日)
- ④パウロ財団(ヘルシンキ大学病院)
 - ・交流研究者:医学部救急医学講座 丹野 克俊 講師
 - ・交流期間:2月11日(火)～2月22日(土)



(2) 受入

本学における教育・研究の発展を図るため、来学された交流研究者を講師とする「国際医学交流セミナー(以下「セミナー」といいます。)」を実施しています。

①中国医科大学

- ・交流研究者: 中国医科大学第一附属病院 陳 晏(チェン ヤン)医師
- ・受入先: 医学部神経内科学講座
- ・交流期間: 8月18日(日)～8月31日(土)
- ・セミナー: 中国における孤発性及び常染色体優性夜間前頭葉てんかんの研究(8月20日(火)開催)

②佳木斯大学

- ・交流研究者: 佳木斯大学 呂 智海(ルー チハイ)医師
- ・受入先: 保健医療学部理学療法学第一講座
- ・交流期間: 11月1日(金)～11月30日(土)
- ・セミナー: 札幌医科大学でのリハビリテーションに係る研修報告～佳木斯大学との教育研究と比較して～

②パウロ財団

- ・交流研究者: トウルク大学 Hannu Juhani Aronen (ハンヌ ユハニ アロネン)教授
- ・受入先: 医学部放射線診断学
- ・交流期間: 3月15日(土)～3月29日(土)
- ・セミナー: 前立腺がんのMRI (3月26日(水)開催)



■日系研修員事業

中南米日系人に対する理学療法の習得及び中南米日系人作業療法士に対する教育や臨床の機会を提供するため、本学では平成19年度からJICAの委託を受け、これまで4名の研修員を受け入れています。

平成25年度においては、JICA日系研修員として(財)海外日系人協会の委託を受け、山口麻紀さん(ポリビア)を保健医療学部理学療法学科で5月17日から3月6日までの10ヶ月間受け入れ、小児や高齢者を中心とした理学療法に対する研究を行いました。

■仏語圏アフリカ 母子保健研修

本学ではJICAの委託を受け、地域別研修「仏語圏アフリカ 母子保健」コースを実施しており、平成25年度で7年目となります。

本研修では、アフリカ地域住民の健康ニーズに対応した母子保健医療サービスの提供を目指し、研修員の所属する機関における人材育成のための教育・研修の充実を図ることを目的に、札幌近郊ばかりでなく中標津町や別海町において、母子保健関係の医療機関、大学及び行政機関等で我が国の母子保健の実態と人材育成について研修を行いました。

- ・研修期間：9月30日(月)～11月8日(金)
- ・参加国：仏語圏アフリカ5カ国：8名(コートジボワール、コンゴ民主共和国、ギニア、モーリタニア、ニジェール)



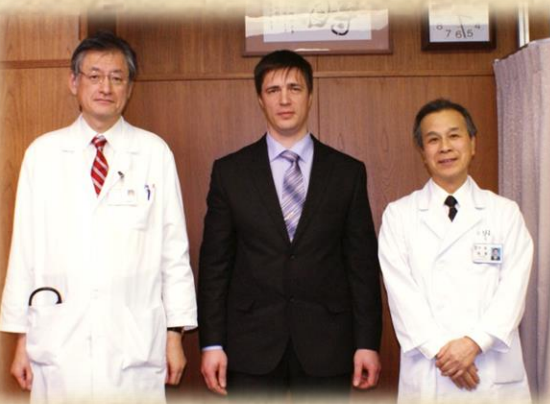
■ロシアサハリン州からの研修

ロシア連邦ティモフスク中央地区病院 テムニコフ医師が公益信託北海道・ロシア極東医療交流基金サハリン州医師研修事業により、本学附属病院で研修を行いました。

公益信託北海道・ロシア極東医療交流基金(コースチャ基金)は、平成2年にサハリン州から火傷を負ったコンスタンチン君を本学附属病院に緊急搬送し、治療を行った際の義援金について、「北海道とサハリン州との医療交流に役立ててほしい」という両親の申し出により創設され、運用されているものです。

平成4年度からスタートした本事業による研修受入は、19回目を迎えています。

- ・研修日程：1月27日(月)～2月7日(金)
- ・受入先：医学部救急医学講座、泌尿器科学講座、整形外科科学講座



■報告会

本学では、国際医学交流事業(旧:北方医学交流事業)をはじめとする交流事業を展開しておりますが、本学から海外の大学へ派遣した方々の交流・研究成果を広く共有し、本学の教育・研究の発展に役立てるため、例年、国際交流活動報告会を開催しています。

平成25年度は、学長をはじめ約50名の学生・教員が参加しました。

・日時:2月25日(火)

・場所:札幌医科大学記念ホール

・報告:国際医学交流事業(アルバータ大学)

(佳木斯大学)

(マサチューセッツ州立大学)

札幌医科大学短期留学助成事業(カルガリー大学)

アルバータ大学語学研修

中国医科大学臨床実習派遣事業

韓国カトリック大学臨床実習派遣事業

田中俊明助教

太田久晶教授

文屋 尚史助教

上原 麻由子医師

派遣学生

派遣学生

派遣学生



発行:平成27年8月

編集:札幌医科大学国際交流部(事務局経営企画課 主査(国際・学術交流))

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

電話:011-611-2111(内線2166)

FAX:011-611-2237